

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	消防本部
課 名	消防本部

預算	款	項	目	決算書	
	9	1	3	190	頁

目 名
消防施設費

事務事業名称
消防施設整備事業

1. 概要

目的	消防施設、設備等の整備を行い、消防水利、資機材等の充実強化を図る。	対象	市民
事業概要	○防火水槽等整備事業 ・耐震性貯水槽を整備(5基) ・防火水槽漏水補修工事を実施(12基) ・防火水槽の有蓋化工事を実施(21基) ○消防施設整備事業 ・消防用水路の改修(1ヶ所) ・原材料を支給(生コンクリート8ヶ所)		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	消防施設整備事業	消防水路の改修・原材料支給等	工事請負費	9,410	7,959	4,423			3,536	3
	新規									
臨時	防火水槽等整備事業	耐震性貯水槽整備・防火水槽の漏水補修・有蓋化等	工事請負費	65,590	61,654	24,642	4,500	3,969	28,543	3
計				75,000	69,613	29,065	4,500	3,969	32,079	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民の安全安心の確保		目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—				市民の安全安心の確保が必要であるため			
活動指標	指標	a	施設整備数		b	車両整備		c	
	数値	目標	—		目標	—		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
市民の安全安心の確保		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a 施設整備数	ヶ所	50 ヶ所	67 ヶ所	38 ヶ所
		—	—	—
b 車両整備	件	12 件	4 件	6 件
		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
国の補助事業等が縮小傾向にある。 事業実施の緊急性を考慮し、補助金の有効な活用を行い地域消防力の向上を図る。
対応（改善点等）
予算の範囲内で緊急性の高いものから事業実施を計画する。

5. 事業費・・・H 2 1～H 2 3（決算額）、H 2 4（予算現額）

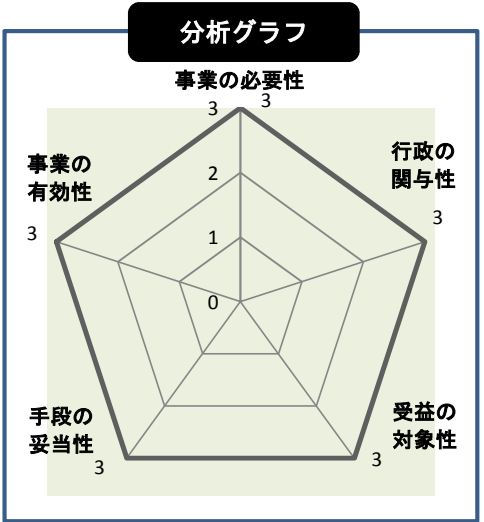
決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
		99,946	119,878	69,613	64,104
うち経常経費				16,267	21,604
財源内訳	国 費	75,050	86,353	24,642	10,472
	県 費	4,588	4,505	4,423	4,400
	市 債	9,500	9,800	4,500	9,900
	そ の 他			3,969	6,170
	一般財源	10,808	19,220	32,079	33,162
うち経常				16,267	21,604
事業費に係る人件費		7,936	8,540	5,590	6,011

6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
補助金等の予算の範囲内での事業実施となる為。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	改善要望箇所を実施
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	市の果たすべき事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	優先的なものから対応する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	消防法に基づいた果たすべき責務
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	災害対応の強化が保たれる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で効果的に実施すること